

## 介護職員養成研修課程カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険による居宅サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険による施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険外のサービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する。</li> </ul>	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。</li> </ul>	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ。</li> <li>・介護に関する基本的な視点（ICF, QOL, ノーマライゼーション）について理解する。</li> <li>・利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。</li> </ul>	(2)-①
	②自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における自立とは何かを学ぶ。</li> <li>・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。</li> <li>・介護の予防の考え方について理解する。</li> </ul>	(2)-②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護環境の特徴、（施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など）を学ぶ。</li> <li>・介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。</li> <li>・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。</li> </ul>	(3)-①
	②介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。</li> <li>・日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職にかかわる倫理綱領を理解する。</li> </ul>	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。</li> <li>・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。</li> </ul>	(3)-③
	④介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の特徴を踏まえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。</li> <li>・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障害について学ぶ。</li> <li>・介護職自身の健康管理の方法（病気や障害の予防と対策）について学ぶ。</li> </ul>	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携	①介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。</li> <li>・介護保険制度の基本的なしくみを理解する。</li> <li>・介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。</li> </ul>	(4)-①

(9時間)	②医療との連携 とリハビリテ ーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職と医療行為の実情と経過について理解する。</li> <li>・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。</li> <li>・リハビリテーションの理念と考え方について理解する。</li> </ul>	(4)－②
	③障害者福祉制 度およびその 他制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉制度における障害の概念について、その歩みを踏まえて学ぶ。</li> <li>・障害者自立支援制度の基本的なしくみについて理解する。</li> </ul>	(4)－③
(5)介護におけ るコミュニ ケーション 技術  (6時間)	①介護における コミュニケー ション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。</li> <li>・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。</li> <li>・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。</li> </ul>	(5)－①
	②介護における チームのコミ ュニケーショ ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。</li> <li>・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。</li> <li>・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。</li> </ul>	(5)－②
(6)老化の理解  (6時間)	①老化に伴うこ ころとからだ の変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。</li> <li>・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。</li> <li>・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。</li> </ul>	(6)－①
	②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に多くみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。</li> <li>・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気を抱える高齢者の生活上の留意点について理解する。</li> </ul>	(6)－②
(7)認知症の理 解  (6時間)	①認知症を取り 巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症を中心としたケア」から、「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。</li> <li>・問題視するのではなく、人として接することを理解する。</li> <li>・できないことではなく、できることをみて支援することを理解する。</li> </ul>	(7)－①
	②医学的側面か ら見た認知症 の基礎と健康 管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化のしくみと変化を学び、認知症の原因を理解する。</li> <li>・認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。</li> <li>・アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ。</li> </ul>	(7)－②
	③認知症に伴う こころとからだ の変化と日常生 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ。</li> <li>・認知症の人の行動と環境との関係について理解する。</li> <li>・病気の症状があっても、その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。</li> </ul>	(7)－③
	④家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ。</li> <li>・家族とは助けるだけの存在ではなく、共に認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。</li> </ul>	(7)－④

(8)障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害とはどういうものなのか」という考え方を学ぶ。</li> <li>・国際生活機能分類（ICF）に基づきながら、「障害」の概念について理解する。</li> <li>・障害者福祉の基本理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョン）について理解する。</li> </ul>	(8)－①
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の原因となる主な疾患を理解する。</li> <li>・障害に伴う心理的影響、障害の受容を理解する。</li> <li>・障害のある人の生活を理解し、介護上の留意点について学ぶ。</li> </ul>	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援は、家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。</li> <li>・わが国に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ。</li> </ul>	(8)－③
(9)こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習（10～13時間）】		
	①介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護が理論的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。</li> <li>・介護が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。</li> </ul>	(9)－①
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。</li> <li>・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。</li> <li>・自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的知識を理解する。</li> </ul>	(9)－②
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する。</li> <li>・神経の種類と、そのはたらきを理解する。</li> <li>・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する。</li> </ul>	(9)－③
	【イ 生活支援技術の講義・演習（50～55時間）】		
	④生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。</li> <li>・家事援助（調理、洗濯、掃除などの援助）は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。</li> <li>・家事援助とは何かについて具体的に理解する。</li> </ul>	(9)－④
	⑤快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。</li> <li>・住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ。</li> <li>・高齢者や障害のある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。</li> </ul>	(9)－⑤
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整容の必要性と、整容に関連するこころとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける。</li> </ul>	(9)－⑥	
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動、移乗の必要性と、移動、移乗に関連するこころとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、移動、移乗の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が移動、移乗に及ぼす影響について理解する。</li> </ul>	(9)－⑦	

	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の必要性と、食事に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。</li> </ul>	(9)－⑧
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴、清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活かし、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が、入浴、清潔保持に及ぼす影響について理解する。</li> </ul>	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄の必要性と、排泄に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。</li> </ul>	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の必要性と、睡眠に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・心地よい安眠を支援するための知識と技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。</li> </ul>	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期のとらえ方を学ぶ。</li> <li>・終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。</li> <li>・死に直面したときの人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。</li> </ul>	(9)－⑫
【ウ 生活支援技術演習（10～12時間）】			
	⑬介護過程の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的と意義について理解する。</li> <li>・介護過程の展開プロセスについて理解する。</li> <li>・チームアプローチにおける介護職の役割と専門性について理解する。</li> </ul>	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のところとからだの力が発揮できない要因を分析する。</li> <li>・利用者本人にとって適切な支援技術は何かを検討する。</li> <li>・利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点について理解する。</li> </ul>	(9)－⑭
(10)振り返り (4時間)	①振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を修了して感じたこと、考えたこと。</li> <li>・介護職が大切にすべき視点。</li> <li>・介護職に求められるもの</li> </ul>	(10)－①
	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTの機会と方法</li> <li>・OFF-JTの方法</li> </ul>	(10)－②

※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。

※2 実習を実施するにあたっては、本要綱「14 実習」の内容に留意すること。